

「キク展」について

西澤永恵・荒木大蔵

広島市植物公園では、平成元年から毎年、10月下旬から11月上旬にかけての2週間、中国重慶市から寄贈された中国菊を中心とした展示を行っている。平成26年の展示は、屋外展示場にて、10月25日(土)から11月9日(日)の16日間行い、現在保有している87品種のうち61品種を展示した。

また今年度は、当園が保有している古典菊20品種のうち15品種も展示した。

1 中国菊

当園が保有している中国菊87品種および展示状況は表1のとおりである。栽培管理は、例年のとおり行った(4月下旬からさし木、5月中旬から鉢上げ、6月に摘心、中鉢上げ、7月に整枝、7月中旬から大鉢上げ)。

日本での大菊の展示は、花の位置や高さを揃え直線的に並べるが、当園では、来園者がどの花も近距離で観賞してもらうために、奥行きを1m程にして、花の高低差を利用した波形に並べ、それに沿って通路をつくった。また、中国菊の花の特徴や名前のおもしろさを感じてもらうために、花と品種名が一目で見えるよう、品種名ラベルは花下に据えた。

2 古典菊

当園では現在、美濃菊3種、江戸菊1種、嵯峨菊7種、伊勢菊4種、肥後菊3種、丁字菊2種を保有している。そのうち今年度の展示では、美濃菊2種、嵯峨菊7種、伊勢菊2種、肥後菊2種、丁字菊2種を展示した(表2)。

当園が中国菊の展示を中心としていたことや中国菊に比べ遅く開花することから、展示していなかった。今年度は全般的に開花が例年より早く、これまでは展示終了後に開花した品種が展示期間内に開花したことから展示した。

表1 平成26年度中国菊保有リスト及び出展状況

品種名	26年度展示出展状況 (H26.10.25 ~ 11.9)
墨荷	出展
玄墨	出展
老墨菊	出展
墨獅子	未出展 (展示期間後開花)
緑牡丹	出展
緑毛刺	未出展 (展示期間後開花)
線鸞翔鶴	出展
線窓紗影	出展
春水緑波	未出展 (葉の黄斑)
深山秋雨	出展
紫龍珠	出展
紫縷帯	出展
翡翠嶺	出展
翡翠簾	出展
紫金球	出展
大紫托桂	未出展 (中鉢止まり)
一染紅雲	出展
紫綉図	出展
墨砂金	出展
朱砂霜紅	未出展 (花がいびつ)
紫菊墨菊	出展
墨麒麟	未出展 (中鉢止まり)
墨双飛	未出展 (中鉢止まり)
春意濃	未出展 (中鉢止まり)
青春似火	出展
英紅暹羅	出展
心花怒放	出展
飛黃	未出展 (葉の黄斑)
天機繡錦	出展
粉毛刺	未出展 (展示期間後開花)
羽儀	未出展 (葉がたれる)
黄芍薬	出展
緑山陰	未出展 (展示期間後開花)
碧玉芳齡	出展
宝蓮灯	未出展 (中鉢止まり)
白鶴展翅	出展
白牡丹	出展
大風歌	出展
鳳凰展翅	未出展 (中鉢止まり)
碧玉勾籠	未出展 (中鉢止まり)
氷心在抱	出展
白彩紅	出展
白毛刺	未出展 (中鉢止まり)
長風万里	出展
大紅托桂	出展
奉獻	出展
粉如意	出展
風清月白	出展
黃鶴樓	出展
黄々龍	出展
荷塘春色	出展
紅雲托桂	出展
金背大紅	出展
金鉢	未出展 (中鉢止まり)
金牡丹	出展
錦袍元帥	出展
緑孔雀	出展
鷹金	未出展 (展示期間後開花)
粉々龍	出展
光輝	未出展 (展示期間後開花)
黃石公	未出展 (展示期間後開花)
黃鶴衝珠	未出展 (展示期間後開花)
黄毛刺	未出展 (中鉢止まり)
紅宝石	出展
君子玉	出展
金絲千柔	未出展 (中鉢止まり)
金風万里	未出展 (中鉢止まり)
葵花向陽	出展
泥金豹	未出展 (葉の黄斑)
平沙落雁	出展
山城之光	出展
珊瑚宝鏡	出展
太真図	未出展 (中鉢止まり)
雪涛	出展
玉容初醉	出展
楊妃争艶	出展
松竹梅	出展
萍水相逢	出展
勝似春光	出展
陶然醉	出展
騰細波	出展
玉笙奏	出展
巫運聖火	出展
誰園緑竹	出展
紫風仙衣	出展
紫綉	出展 (短幹種により中鉢で出展)
棕毛刺	出展 (短幹種により中鉢で出展)

表2 平成26年度古典菊保有リスト及び出展状況

品種名		平成26年度展示出展状況 (H26.10.25～11.9)
美濃菊	美濃乙女	未出展(展示期間後開花)
	美濃の粧	出展
	光明殿	出展
江戸菊	宝貴	未出展(展示期間後開花)
嵯峨菊	嵯峨の声	出展
	嵯峨の香	出展
	嵯峨の桜	出展
	嵯峨の雪	出展
	嵯峨の夕景	出展
	嵯峨の錦	出展
	嵯峨の庭	出展
伊勢菊	残雲	未出展(展示期間後開花)
	乱れ糸	出展
	初日の出	出展
肥後菊	国の不知火	未出展(展示期間後開花)
	宮の松	出展
	春の海	出展
丁字菊	末広丸	出展
	崖のぼんだい	出展

3 キク科植物の紹介

今年度の展示では、仕立てたキクを鑑賞してもらうだけでなく、キク科植物の魅力を知ってもらうために、キク科植物をテーマにした区画を設けた。「キク科植物とは」、「身近なキク科植物」、「実はキク科植物」、「実はキク科植物でない植物」、「なぜキク展は秋に行われるのか」など、キク科植物自体の説明パネルと、キクの園芸史の説明パネルと、キクの仕立て方をパネルとその状態の鉢と道具を展示した。

パネルは、ひとつの内容でA3版カラー1枚とし、大きめの字と写真で簡潔に説明し、離れたところからでも目に留めてもらいやすいようにした。パネルを見た来園者からこれまで知らなかったことを知った感嘆の声を聞くこともあった。



写真 展示の様子